

## 農林水産大臣賞

対馬市生活研究グループ連絡会 美津島支部 今里グループ  
(長崎県対馬市)

代表作品「防人の島 蜂蜜・マーマレード入りまんじゅう」

今里グループは、農家の女性がほっとする場やくつろげる場として、昭和48年7月に結成された。

昭和60年には、下県地区生活改善グループ連絡研究会の一員としての共通目標「5. 5. 5運動」(5アールの自給菜園をつくる、5種類の果樹を植える、5羽のつしま地鶏を飼う)に取り組んだ。また、美津島町生活改善グループ連絡協議会結成の先頭に立ち、昭和62年に協議会を発足させて、技術伝承や消費者との交流、農産加工や学校給食への取り組みを展開した。

活動を進める中、対馬の中で受け継がれてきたみそやみそ漬、鰹とみそを使った鰹みそなどの生産から加工、販売等への意欲が高まり、昭和63年に1人100万円を出資し、5名で農水産加工施設を設置して、現在に至っている。

代表作品「蜂蜜・マーマレード入りまんじゅう」は、対馬に生息するニホンミツバチの蜂蜜と5. 5. 5. 運動の一つとしての果樹「夏みかん」を活用したもので、蜜源確保のため耕作できなくなった農地を利用してそばやレンゲの栽培にも取り組んでいる。

これまで培ってきた技術を郷土料理集として冊子にまとめ、技術の伝承を図り、技術向上に努めており、さつまいもを使った対馬独特の「せん」や「そば」を伝承する動きは、女性だけでなく男性も関心を寄せるようになり、徐々に各家庭に広まっている。



「せん」でつくる「ろくべえ」



「蜂蜜・マーマレード入りまんじゅう」